

『臥龍梅』 蔵便り

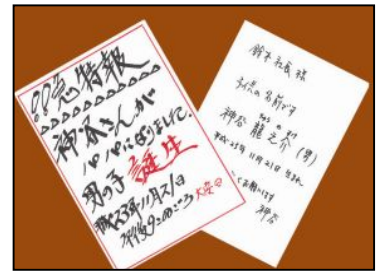
平成二十四年睦月



皆様 明けましておめでとうございます。今年のお正月は如何お過ごしだったでしょうか。

蔵でのお正月の模様をご報告いたします。三が日の間、たいていの方はゆっくりくつろいで過ごされたと思いますが、酵母は人間の都合とは関係なく醪の中で活動を続けております。したがって、いったん仕込みを切ったり上槽のタイミングを調節したりして作業が楽になるよう工夫はしますが、蔵ではお正月も基本的に休みを取らず仕事を続けております。時期的に大吟醸の醪の管理が中心となります。今年は冷え込んだので醪の管理もし易く理想的な経過となりました。きっと美味しい大吟醸が出来るものと存じます。皆様、ご期待ください。そんな訳で、三が日は早朝から家内が手作りのお雑煮を蔵人のために用意することから一日が始まります。3日の晩はお雑煮にもおせち料理にもさすがにちょっと飽きてきましたので、口直しに蔵人と市内の「盛旺」さんという中華料理屋に出かけました。こちらは地元のVIPもお忍びで訪れる、知る人ぞ知るお店です。臥龍梅の超辛口が中華料理にぴったりで杯が進み、4人で720ml 壺を2本、お銚子を5,6本空けました。翌4日の晩には、麴屋の神谷君が奥さんと赤ちゃんを伴って自宅に挨拶に来てくれました。昨年11月に待望の長男の龍之介君が誕生したのです。神谷龍之介・・・何だか剣豪みたいな強そうな名前です。将来が楽しみです。翌5日は仕事始め。朝礼で今年の抱負をゆっくり述べる間もなく、従業員一同で注文の出荷準備に追われました。路線便の運送会社が年末28日に営業を終了してしまいますので、遠隔地向けの出荷はそこでストップせざるをえません。それで年明け早々から出荷が忙しくなるのです。さて、その翌日の6日には、同業他社3社、地元の小売酒販組合、卸酒販組合の代表の方々と清水税務署長さんのところへご挨拶に出かけました。普段は窓口で用事を済ませることが殆どですが、この時ばかりは署長室へ通していただいて署長さんからお話を承るのが恒例となっております。税務署を出るとすぐに清水駅からJRに飛び乗って静岡のターミナルホテルに向かいました。

静岡商工会議所の賀詞交換会に出席するためです。税務署訪問の約束が10:30、賀詞交換会の開始が11:00。ちょっと忙しいスケジュールですが、鏡開き用の4斗樽を寄贈している関係上、樽酒の味を確かめたくて急いだものです。会場に着いてみると立錐の余地もない大会場では会頭の挨拶が終わって川勝県知事のスピーチが始まったところ、何とか乾杯に間に合いました。いつもどおりの臥龍梅の味にほっといたしました。



さて、今月はお待たせしておりました**誉富士の純米吟醸**、**超辛口の純米吟醸**、さらに**山田錦の純米吟醸の袋吊雫酒**をご案内いたします。どれも自信を持ってお勧めできる出来栄ですのでお早めにお試ください。

厳しい寒さの中、皆様ますますお健やかに。

敬具

平成24年1月吉日

鈴木 克昌